森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　平成２９年２月１日発行　通巻第２５１号

森のなかま

２０１７年２月号
NO.１０６（継続２５１号）

事務所が移転しています！！

ＮＰＯ法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　発行人　久保　重明
〒243－0018　厚木市中町２丁目１３番１４号・サンシャインビル６階６０４号　TEL046－297－0301・Fax046－297－0302

森林部会　平成28年度第6回研修会　「チェーンソー」　が開催されました

日時:平成 28 年 12 月 11 日(日)　8:50～15:30　場所:「やどりき水源林」ボランティア林A上部　天気:晴れ

《　森林部会　　水上正昭　13 期　》

「やどりき水源林」(ボランティア林Ａ上部)で、チェーンソー研修会が開催された。今回の研修は、チェーンソーを初めて使う人からベテランまでを対象に、Ａ班(初めて)、Ｂ班(数回の経験)、Ｃ班(年間3,4回の使用)、Ｄ班(ベテラン)の 4 班編成で実施しました。

オリエンテーション･準備体操後、班毎に道具類を分担してＡ班を先頭につづら折りの道を登り始めた。登りだけのため皆さん汗をかきながら 40 分程登り、研修場所に到着した。一休みして、各講師の指導のもと講義・実習を行った。主な実習の内容は、次のとおりです。

初めてのＡ班は、伐根等を利用して受け口・追い口の切り方を練習し、伐採後の枝払い･玉切り等の整備方法を学び、チェーンソーの構造や機能を理解していただいた。経験のあるＢ班はチェーンソーの使い方に慣れること、チェーンソーを利用したかかり木処理やフェリングレバーの使用方法を学び、Ｃ班はさらに広角受け口にも挑戦し、かかり木処理やフェリングレバーの使用方法を確認しつつ伐倒した。ベテランのＤ班は、突っ込み切り及び矢(楔(くさび))の使用方法を学び、プラロックを利用して追弦(おいづる)切りで伐倒した。

実習後、上部のＡ班から順次下山。最下部のＤ班では、かかり木となっていた作業が続いており、皆さんで見学。プラロックで荷重をかける、緩める、の繰り返しながら、フェリングレバーの回転を駆使して見事に伐倒されるのを見学できた。上級者の追弦(おいづる)切りやかかり木処理技術を見られたことは良かったようでした。

天気にも恵まれ、怪我した人もなく無事に下山した。道具類の整理後、チェーンソーの清掃・目立て方法について指導を受けて行った。最後に部会長の研修についてのあいさつで終了した。

今回の研修は、外部の講師でなく部会有志の方々が講師として実施された。懇切丁寧な指導で、皆さんチェーンソーを使用する機会が多かった研修会でした。　(次ページに続く)

オリエンテーションと準備した機材

つづら折りの道を登る

各班の研修風景は次ページ掲載を参照ください。

道具の手入れと反省会

○講師:Ａ班＝松永⑪、Ｂ班＝石川⑫、Ｃ班＝佐藤⑤、Ｄ班＝戸谷⑥
○幹事:松永⑪、石川⑫、水上⑬、滝澤⑤
○参加者:有坂⑤、飯澤⑨、水津⑨、上田⑩、柴⑪、山口⑪、吉田⑪、斉藤⑬、前田⑬、岩田⑭、鈴木⑭、谷⑭、牧石⑭

A 班

受け口水平部、追い口想定の真っ直ぐ切り

受け口想定の斜め切り練習

伐根を利用し練習

枝打ち･玉切り練習

B 班

チェーンソーの使い方詳細＆再学習

チェーンソーなら可能な受け口角度

掛かり木処理　（ロープとフェリングレバーを使用）

C 班

広角受け口に挑戦

3倍力システムのロープワークを使用

追い口を切り始め倒れだしました（わざと掛かり木にする方向）

掛かり木は絶好の練習

D 班

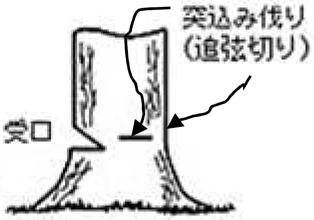
プラロック：ロープ形状の牽引器具

突込み伐り

矢（楔（くさび））の打ち込み

最後に追弦斜め切り

最後に全員でＤ班の掛かり木処理を見学研修



（取材、写真＆キャプション：広報　松本）

平成28年度　普及啓発部研修会

平成28年12月4日（日）9:30～14:30　場所:やどりき水源林にて参加者:8名　天候:晴れ

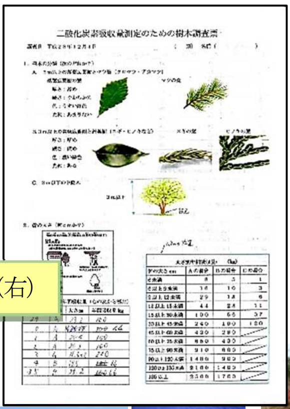
＜普及啓発部部会長　足立　功　4期＞

講師:足立氏④、森本氏⑤　参加者:　井出①、菊池①、高橋③、足立④、森本⑤、松本洋子⑧、松本保⑪、牧石⑭

1.　実験授業「木が貯めこんでいる二酸化炭素の量を測ろう」の試演やどりき集会棟周辺の木 50 本を対象に測定

2.　からくり貯金箱「オルゴールと観覧車」の紹介　③シュロバッタの作り方　④ロケットラワンの作製と飛ばし方

オリエンテーション



CO2 算出の為の幹径の測定と調査票（右）

からくり貯金箱

シュロバッタ

シュロバッタの出来栄えは good

本物のラワンの種とロケットラワン

ロケットラワンの
飛ばし方法には要技術

（写真撮影:松本⑪）

森林文化部会部研修会　【インストラクター技能向上のための研修会(祠大掃除を兼ねる)】

― ロープさつま編み研修、注連縄作り ―

平成28年12月18日（日）9:00～14:30　場所:やどりき水源林休憩棟にて　参加者:16名　天候:晴れ

1. ロープさつま編み:講師　大澤氏⑩　研修:9人

講師の説明に従い制作開始

思ったよりも難しい、ロープサイズ（径）は9φ、仕上げ長さ3m

苦戦も見事に完成

2．注連縄作り：森林文化部会員と事務局

昨年経験の高橋、真貝、福島各氏はさらに腕をあげていました

鳥居、祠に取り付け　⇒　平成 29 年 1 月 15 日の山の神祭へ

参加者:菊池①、井出①、武者⑦、*白畑⑦、高橋⑨、*内野⑨、*大澤⑩、*小笠原⑩、真貝⑪、福島⑪、*赤崎⑫、*石川⑫、*古舘⑬、*江頭⑬、*国弘⑭、*鈴木(淳)⑭　(*は主にさつま編み研修)　　(取材&手伝い:広報　松本)

平成28年度“第2回やどりきの森へ行こう”　【 もうすぐ冬！紅葉＆動物の痕跡探 】～秦野林道

平成28年11月 26日(土)8:30～15:10　晴れ時々曇り(11/24 には雪)、 参加者:22名 （写真撮影:広報　松本 ）

秦野林道は、神奈川県唯一の広域基幹林道として作られ、始点を松田町寄とし、山北町玄倉が終点です。総延長は15km程で全線開通は1995年です。今回は寄大橋～菰吊(こもつり)橋までの約4kmです。

秦野林道探訪ルート(寄大橋～菰吊橋)

広場でオリエンテーション

11/24 の降雪が未だ

塗装工事中の寄大橋

手代橋

中澤橋

菰吊橋で昼食

リュウノウギク

リンドウ

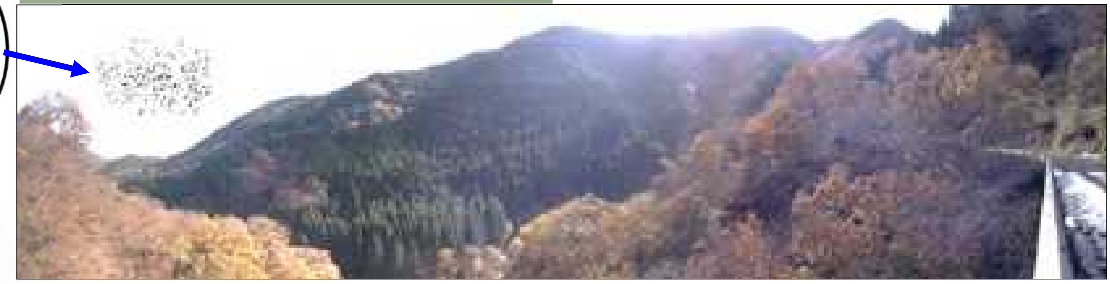
今シーズンの残り少ない紅葉

ツルウメモドキ
(エナガ(鳥)が
たくさんいました)

カラスザンショウの実を
ついばむジョウビタキ

菰吊橋からのパノラマ撮影で写っていたアトリの群れ
(残念ながらピンボケ)

アトリの群れ



●===●===●===●　**次回の第３回やどりきの森へ行こうの案内です**　●===●===●==●

要申込『やどりきの森へ行こう！』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、
水源林ゲート前までバスを利用！
(バス代各自負担：片道620円)　☆＝所要時間目安

３月１８日(土)
【春が来た！ミツマタ&モモンガの棲む森散策】

「やどりき水源林」名物!春を告げるミツマタの群生や
ヤマブキなどを見ながら、森林浴でリフレッシュ！
ムササビやモモンガに逢えるといいな♪

☆＝3時間 申込締切…3月2日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】
公益財団法人 かながわトラストみどり財団　(左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】
NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
〒243-0018　厚木市中町2丁目13番14号
サンシャインビル604
E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、
住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、
又はE-mailにてお申し込みください。
締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

森のめぐみ　シリーズ

枠組は桜の小枝です

第１７回 植物の生育をコントロールするアレロパシー

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

セイタカアワダチソウが野原や空き地に黄色の花を一面に咲かせている光景をよく見かけます。鮮やかな黄色の花を米国では州花にしているところもあるくらいです。精力的に生育していた夏の草花に変わり、秋の気配と共に野原に静かさが漂う頃、黄色一色で彩るその花は静けさとは裏腹に野原に明るさと活気を呼び戻します。米国からの外来種であるこの草花は明治時代末期に花を愛でる目的で米国から移入されました。その後日本での成育環境がよかったのか、すごい勢いで繁殖したために、その美しさが失墜し、今では日本の侵略的外来種ワースト100にも選ばれています。その土地に養分が豊富なことなども繁殖の条件になりますが、セイタカワダチソウの繁殖の大きな要因はその根から他の雑草などの発芽や生育を阻害する成分を出して、自分だけがはびこっていくことによるものです。

このような現象を**植物のアレロパシー**といいます。自分の生育している範囲に他の植物が侵入してくれば生育範囲が狭められるだけでなく、その土地の養分までも横取りされてしまいます。そこで自分のテリトリーを守るために他の植物の成長を妨げる物質を分泌するのです。数年経ちますと結局、自分もその成分の影響を受けて矮小化し、その後にクズやススキなどの植物がはびこっていきます。自由勝手に生えていると思われる雑草ですが、ある程度の順序があるのです。このような現象は植物の遷移と言われています。その順序を決めるのに植物の成分も関わっていることがあるのです。

アレロパシーの現象は草だけでなく樹木にも見られます。350年ほど前の江戸時代初期の学者熊沢蕃山はアカマツ林には雑草が少ないことを指摘して、アカマツの雨滴が雑草の生育を阻んでいると推定しました。その後、マツの葉から溶けだしたクマル酸という物質が阻害物質として明らかにされたのは300年以上も経ってからのことでした。化学の情報の無かった時代に熊沢蕃山は既にアレロパシーのことを考えていたのです。

同じ場所に元あった作物や木を植えると成長が抑えられる現象に忌地現象があります。忌地現象は土地の養分の減少や物理的な悪化が原因で起こりますが、アレロパシーが関わっていることもあります。イチジクのあった場所にイチジクの苗を育てようとすると苗の成長が阻害されます。イチジクの葉は古くはトイレのウジ殺しなどの駆虫剤として使われていました。その成分がアレロパシーとして作用するのです。

5～6月に甘く濃厚なにおいを漂わせる白い花を枝いっぱいに咲かせるニセアカシアはハリエンジュとも呼ばれていて、養蜂家にとっては欠かせない木です。しかし、その繁殖力は強く、根を地中に延ばして予期しない場所に芽を出し成長します。この木にもアレロパシーが関わっています。

果樹ではモモ、リンゴの木からもアレロパシー物質が分泌されることがわかっています。熱帯地方の木では、ユーカリ、メラルーカ、アカシア、コーヒーノキにもアレロパシーがありますし、その成分も明らかにされています。

やどりき水源林の秦野林道沿いに植えられているユーカリ
(2016.11.24 の雪で折れ落下していた枝)

アレロパシーのある草木は旺盛な繁殖力で植生を乱しますが、逆にこの現象をうまく利用すれば、雑草の成長を抑制するのにも利用できますし、農薬のいらない天然の除草剤として活用も可能になります。

(写真撮影:広報 松本)

活　動　短　信

今回の掲載は平成 28 年 11/1～11/17 です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

無料イラストより

楓蔦黄 11/2～11/6 頃
しもはじめてふる
　楓や蔦が色づく
第五十四候 霜降　末侯

金盞香 11/17～11/21 頃
きんせんかさく
　水仙の花が咲いて香る
第五十七候 **立冬**　末侯

◆ 横浜市立浅間台小学校 愛川宿泊体験学習

日 平成 28 年 11 月 1 日(火)10:00～14:50、雨後晴れ
場 愛川ふれあいの村　多目的ホール
参 小学 5 年生 54 名、教師等 7 名　　計 61 名
財 古舘様
イ L井出①、小野⑦、渡部⑦、齋藤⑧、小沢⑨、村井⑨、西出⑫

午前中強い雨のため、長竹分収林での間伐作業は中止。ふれあいの村多目的ホールで、森林講話、クラフト体験(丸太切り、木のスプーン作り)を実施。

- 森林講話(井出)…森林の役割、林業について(パソコン、プロジェクターを使用)
- 丸太切り…下見の際確保しておいた丸太を使用し、コースター作りの指導
- 木のスプーン作り…ふれあいの村メニューの「木のスプーン」の制作指導

予想以上に雨が強く作業は断念したが、以前の活動で作成した森林講話の資料、下見の時に集めておいた丸太が役に立ち、子供たちにとってある程度満足できる体験になったと思う。

(記 井出 恒夫 ①)

◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 平成 28 年 11 月 3 日(木)8:30～14:00、 晴れ
場 真鶴町岩(真鶴町県行造林)
参 50 名
財 鳥海様　古舘様　　看 小林様
イ L 大道⑥、鈴木昭⑦、阿部⑧、内野⑨、水津⑨、高橋⑨、小沢⑨、小笠原⑩、橋本⑩　徳岡⑪、山下⑪、上宮田⑪、石川⑫、小池⑫、宮下啓⑫、藤代⑬
研 岩田⑭、木村⑭、小松⑭、鈴木⑭、

昨日までの不順な天候も回復し活動日和を迎えたと思いきや想定外の事態が発生、参加者の集合時間帯(7:40～8:30)に集合場所「根府川駅」手前、小田原・早川間で信号機故障が発生し電車が止まってしまった。

幸い大半のインストラクターが先着電車で到着し身支度を整え活動準備に備えていた事と運行再開(8:30)後の電車は順調に到着し参加者の受付・バス案内がスムーズに進められたことで 15 分程度の遅れで目的地へ向かう事が出来た。

活動エリアは約1ha、28 年生のヒノキ,が間伐対象。参加者は、インストラクターから安全な作業・選木の選定方法・伐倒方向の確認・受け口・弦(つる)の目的・追い口等について詳しい説明を受けた後、実作業に移る。

伐倒では細身の材で有っても掛かり木になると簡単には倒れてくれず、ロープ・滑車をフルに活用し悪戦苦闘しながら慣れない作業に皆さんは汗を流す。

今朝、集合時間帯に電車が止まり、出端をくじかれた感じでのスタートとなるも活動事体に影響はなく 35 本の木を処理し無事活動を終えた。

(記　大道　辰夫 ⑥)

◆ 横浜市立桜台小学校 長竹林業体験 (間伐)

日 平成 28 年 11 月 3 日(木)8:30～13:00、 晴れ
場 相模原市緑区長竹承継分収林
参 小学 5 年生 82 名、教師等 8 名　計 90 名
財 内田様
イ L井出①、佐藤⑤、滝澤⑤、伊藤⑦、有坂⑧、鈴木⑧、松本洋子⑧、松本保⑪、澤村⑫、牧石⑭

9 グループに分かれて、間伐体験、コースター作りを行った。作業前の打合せで、間伐をする目的を子供たちに理解させるよう申し合わせた。雨上がりで地面(特に残木や根の上など)が滑りやすく、注意を喚起しながら作業を行った。作業時間が 2 時間弱と短く、間伐・コースター作りが完了するか心配したが、コースター作りでは、インストラクターも手助けをして、予定した活動内容を行うことができた。終わりの会で、

リーダー 間伐体験は楽しかったですか？

子供達 ハーイ！
リーダー 間伐の目的は理解できましたか？
子供達 ハーイ！
　子供達の元気声が林内に響き、林業体験は終了した。
（記 井出 恒夫 ①）

◆ かわさき市民祭り
（街頭キャンペーン川崎）
（詳細は平成 28 年 12 月号に掲載済み）

日 平成 28 年 11 月 4 日（金）～6 日（日）（3 日間）
場 川崎市川崎区富士見公園　川崎競輪場西スタンド 2F
参 753 名 （11/4:151 名、11/5:270 名、11/6:332 名）
財 11/4･6　籾山様、　11/5 佐々木様
イ 11/4（金） L森本⑤、渡辺③、高橋③、足立④、
鈴木⑤、斎藤⑥、武本⑦、小野⑦、斎藤⑧、中島⑨、
青木⑩、松本⑪、大原⑬、小松⑭
11/5（土） L足立④、菊地①、落合③、高橋③、
島岡③、鈴木⑤、斎藤⑥、富樫⑥、武本⑦、小野⑦、
渡部⑦、中島⑨、青木⑩、中村⑪、山崎⑫
11/6（日） L森本⑤、高橋③、足立④、相馬⑤、
安部⑤、斎藤⑥、武本⑦、松本洋子⑧、青木⑩、
松本保⑪、澤村⑫、溝田⑬、小松⑭、立花⑭

　今回、実行委員会からの指示どおり、「客引きなし」「はみ出し設置なし」で対応した。キャンペーン系の団体としては、つらい局面であるが、止むを得ないか。
丸太切りの小径木は、ロータリー丸太（白木ブツ／径 10 cm）を使用した。バリの処理はあるものの、使い勝手は良さそうだ。丸太切り担当の負担軽減に向けて、午前･午後の交代制など、柔軟な態勢で臨みたいと思った。
（記　森本　正信　⑤）

◆ キリンビール株式会社　横浜工場
（間伐活動）

日 平成28年11月5日（土） 10:00～13;00、晴れ
場 やどりき水源林、キリンビール･パートナー林
参 51名（うち第15期研修生5名参加）
県 菊池様
イ L西出⑫、伊藤⑦、小沢⑨、村井⑨、上田⑩、
吉田⑪、木村⑭、小松⑭、牧石⑭、立花⑭

　やどり き入口は気温13℃、 広場到着頃から好天で気温上がり活動日和です。
　予定通り集会棟前広場にバス到着、 10時から開会式、キリン部長様、 県菊地様からご挨拶を頂き、 次いで西出リーダーからインストラクターの紹介と安全作業･間伐場所の状況説明受けた。
　準備体操、集合写真を撮り、用意された道具類を携行し10:30管理棟側Bコースから上り 「キリンビール水源の森」へ入る、9班編成で、各班4～6人体制とし、稜線に近い1班は15期研修生の編成、到着後班毎に打合せを済ませ、伐木と足場確認して伐倒作業を始める。
　この森は年2回の間伐活動が行われていて、 経験者も多く作業は手際良く進んだ。 選木はヒノキが多く掛かり木状態になった班も見受けられたが伐倒処理は出来た。各班一本伐倒し12時下山する、広場へ戻り道具を返納。
　6. 7. 8班が持ち帰った間伐材は広場に用意した「馬」に載せ固定して皆さんでコースター切りを楽しんで貰いました。 間伐作業で鋸扱いに慣れたのかコースター切りの鋸さばきは見事でした。
　終了後は着替えて反省会行う、 ヒヤリハッ トや道具破損等の報告は無かった。
　閉会式終了後13時やどりき広場をあとにした。
（記　立花　康美　⑭）

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html

◆ 横浜市立上寺尾小学校
「総合的な学習の時間～森林の動植物を知ろう～」

日 平成 28 年 11 月 15 日（火）14:00～16:30、曇り
場 横浜自然観察の森
参 生徒 92 名、教師 9 名　計 101 名
イ L大原⑬、井出①、堀江④、伊藤⑦、渡部⑦、
村井⑨、薗田⑬、長尾⑬、真部⑬

　横浜市立上寺尾小学校では、横浜自然観察の森の観察ｺｰｽ散策で、インストラクターの派遣を要請したのは今回が初めてとのこと。約 100 名が、予定の時間内にできるだけ充実した体験をしてもらえるよう、下見時、散策ｺｰｽの設定工夫、生徒の皆さんに自然観察を通し、動植物に興味を持ってもらえるよう、観察のﾎﾟｲﾝﾄ･話題とする共通事項等を打合せ、活動当日を迎えた。当日、心配した雨にも合わず、予定通りに散策ができたことは幸いだった。散策

ルートの設定工夫が功を奏したのか、9 班で散策したが、各インストラクターが自然観察の森の随所で、生徒の皆さんに動植物に興味を持ってもらえるよう、様々な話題を提供することができた。11 月の午後ということで、自然観察には、必ずしも良い条件とは言えなかったが、生徒の皆さんは、大変、活発で、インストラクターの話を前向きに聞いる姿が印象に残った。また、生徒の皆さんが一番興味をもっていた‘タイワンリス’を見る事ができたことは有難かった。

（記　大原　正志　13 期）

◆　工藤建設

第10回フローレンスガーデン感謝祭

日　平成 28 年 11 月 6 日(日）8:30～15:30、晴れ

場　横浜市青葉区　日本体育大学健志台キャンパス

参　720 名

イ　L米本②　渡辺⑦　中島⑨

第10回FG感謝祭に「森の工作コーナー」の運営で出店した。

今年は工藤建設(株)様の創業50周年の節目の年ということで会場を本社より日本体育大学健志台キャンパスに変えてますます盛大になったイベントでした。

どんぐり工作は相変わらずの人気で 120 セット出ました。反省会でどんぐり工作も次回より新しい方法で展開しようと案が出ました。材料はすべてバイキング方式にして台座は工藤建設の 2×6 材 140 ㎜材を使うなどの意見が出ました。

今回も一部キット以外の松ぼっくりやミッキーマウスが人気でした。

（記　米本　力　②）

◆　かながわ県民活動サポートセンターでの

PRイベント

日　平成 28 年 11 月 8 日～23 日までの 8 日間

（11/8、10、11、14、16、18、22、23）

場　県民センター1Fロビー

（入口を入って左側のスペース）

参　延べ 235 名（大人がほとんど）

県　市川課長、星様、大西様も視察に来場

イ　L森本⑤、福島⑪、高橋⑨、草野⑧　の

4 名で計 16 人工

主催が神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課で、共催が県民との協働による森林づくり実行委員会のキャンペーン（11/2～24）。

テーマは「水源の森林を＜もっと＞知ろう！」。

集客イベントとして木工体験（どんぐりクラフト・シュロバッタ）を採用。特に、シュロバッタは来場者の関心も高く、企画として当たった感じがした。坂井県民センター所長殿より、お褒めの言葉（いままでの出展者の中で、今回が一番）も。緑の募金に理解を示す方々も多く、次回も、出店出来たらいいな、と思いました。

（記　森本　正信　⑤）

◆　JX エネルギー株式会社

パートナー林保全活動

「ENEOS みらいの森」森林保全活動

日　平成 28 年 11 月 12 日(土)11:00～12:00、晴れ

場　やどりき水源林

参　198 名(大人 165 名　子供　33 名)

県　増子様　武田様

イ　L 上田⑩

間伐:　小野⑦、小沢⑨、小笠原⑩、中村⑪、澤村⑫、

牧石⑭、有坂⑧、大道⑥、斎藤⑥、石川⑫、立花⑭、

自然観察:　白畑⑦　宮本④　黒澤⑧　杉崎⑩　渡辺③

古館⑬　赤崎⑫　森本⑤

クラフト:　菊地①、落合③、鈴木⑤、伊藤⑧、

松永⑫、小松⑭

間伐

9:25までに大型バス4台が到着し、約200名の参加者の大部分は時間通り集合しました。道路事情でマイカー参加者の一部が遅れたため、開始を遅らせましたが、数名が間伐に参加できなかったようです。約15分遅れてセレモニーが開始され、JXエネルギー川崎製造所・下村所長様の挨拶、県水源環境保全課水源の森林推進グループ・増子グループリーダーの挨拶、上田リーダーの挨拶が行われました。体操、集合写真の後、数名の親子を含む6人ずつの9班に分かれ、道具を持って間伐現場へ向かいましたが、すでに11時近く一本倒すのも難しい状況でした。それでも各班とも、何とか倒させてあげたいと一緒になって頑張り、昼食後の宿題は残りましたが、安全に楽しんで戴けたと満足感を味わいました。もう少し時間があればよかったというのが感想です。

（記　石川　裕一　⑫）

自然観察

朝から素晴らしい秋晴れで、紅葉の始まったやどりき水源林は本当に美しい彩りを見せてくれていました。自然観察は初めて、という参加者の方がほとんどで、お子様も一緒にＢコースを歩きました。スギやヒノキの違いや間伐の必要について話しながら、林業体験班が実際に間伐をしてスギを切り倒すところも見学しました。秋の水源林を満喫していただけたことと思います。

（記　赤崎　さほり　⑫）

クラフト

晴天に恵まれ、自然の真っただ中で参加者の方々が木工工作に挑戦。

時間の経過は、9 時にインストラクターが集合し準備・打合せ。10 時に開会式。10 時 20 分に活動開始。11 時 50 分に閉会式。12 時に解散。

活動開始とともに、参加者が、ドングリ工作、クリスマスリース作り、丸太切り(コースター作り)、ロケットラワンの 4 つの野外活動に取り組みました。ロケットラワンは青空に向かってより高く、またより滞空時間を長く、参加者の子供も大人も一緒になって競争し、大きな歓声に包まれていました。またドングリ工作、クリスマスリース作り、丸太切りも盛況で、やどりきの自然・森林を満喫されていました。

（記　小松　立史　⑭）

人も自然も いきいき 丹沢
丹沢の自然再生に取り組む　丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ タカナシ乳業株式会社 パートナー林活動

やどりき癒やしの森の整備と水源林散策・森林癒やし体験

日　平成 28 年 11 月 12 日(土)10:00～15:00、晴れ

場　やどりき水源林

参　社員7名

県　増子様、武田様

イ　Ｌ宮下⑩、草野⑧、湯浅⑪、江頭⑬

紅葉の真っただ中。山の彩りもよく、もってこいの活動日より。オリエンテーションの後、ストレッチ体操で体をこなし、各人ヘルメットや鋸を装備してタカナシ様の渓畔林に向かう。本日の作業は、倒木の処理と林内整備。倒木はかなりの大木で安全確保した作業が第一。まず枝払い、次に玉切り作業へと進む。ロープを使い玉切りした部分が落ちないように安全確保。倒木処理や林内整備完了後、枝で水の流れる音を聞いたり、ハンモックで癒やし体験をしたり。

昼食の後、水源涵養の話が終わるとBコースを利用した森林浴や自然観察。途中、クロモジの香りを感じていただいたり、寝転んで樹幹の揺らぎを見たり、呼吸法を体験していただいた。コース途中では、林床の草や森林の様子を見ていただき、森林整備の大切さと水源涵養の話に花が咲きました。途中、ミヤマシキミの赤い実がとても印象的な様子。ゆったりと散策ができ、紅葉を楽しむことができた一日ではなかったでしょうか。

（記 宮下　修一　⑩）

◆ 酒匂川水系保全協議会 ＜紅葉観察・水源林散策＞

日　平成 28 年 11 月 12 日（土）　10 時～14 時 20 分　晴れ

場　やどりき水源林

参　11 名（男性 8 名　女性 3 名）

スタッフ　酒匂川水系保全協議会　佐藤様他 3 名

イ　Ｌ薗田⑬、大原⑬、小川⑬、真部⑬

担当インストラクター4 名は 9:20 に活動現場である「やどりき水源林」に到着した。

前日来の雨の影響もなく日差しが暖かく、絶好の散策日和となった。

予定の 10 時にお客様のバスが到着する。佐藤課長のご挨拶の後、インストラクターの紹介があり、薗田リーダーから安全に関する注意事項と本日の「やどりき水源林」周辺のコース説明があり、準備体操のあと 2 班に分かれてスタートした。

午前中は秦野峠林道入り口からＡコースの 22～24 年の成長の森を回った。季節がら草花は少なかったが、人工林や自然林の現状をはっきり見ることができ、参加者のみなさんは水源林の本来あるべき姿と大切さを確認されたように思う。午後は林道コースをゆっくり散策し、林道脇の植物の説明に耳を傾けたり、珍しい「サルナシ」の実に感心され 14 時に集会棟前広場に戻った。閉会の挨拶と記念撮影の後、14:20 にゲート前でバスをお見送りした。

色づき始めた紅葉に目を細められて「何よりのご褒美ですね！」と言っておられた姿が印象的であった。

（記　小川　和恵　⑬）

◆ 伯東株式会社

間伐

日 平成28年11月12日(土)10:30～12:30、晴れ
場 南足柄市塚原ボランティアフィールド
参 伯東グループ様　12名
イ L 高橋⑨、内野⑨、福島⑪

伯東グループは今まで下草刈り等の実施経験はあるが、間伐は今回初めてとの事であった。

下見のおりに、間伐のみを行うのではなく、間伐の意義や施業に関すること、間伐材の利用方法等、環境保全に係るなかでの間伐について幅広く話をして貰うほうが良いとの要望があった。作業時間は午前中の２時間であるため、事前打ち合わせでは時間内でできる選木も考慮して行うことを確認した。

参加者の大多数が間伐は初めてであり、過去に行った下草刈りの作業経験も無い方もおられたため、朝の集合時に人工林への転換から現在の林業の状況、植栽から間伐に至る施業の意味をお話しし、現地では安全と作業方法を中心に実施した。作業時間が限定されているため、間伐体験としては小径木となり達成感は少なかった感はあるが、実際に林内の状況や間伐体験から間伐の必要性や作業場所の傾斜から作業の大変さについての感想もあり、短時間であったが有意義に作業をして頂いたと思う。

ほぼ時間通りに終了し、事故･ヒヤリハットも無く、次の会場へ移動されました。

（記　高橋　修　⑨）

◆ 相模原市立上溝小学校

「森林の間伐体験」

日 平成28年11月15日(火)9:30～15:00、晴れ
場 相模原市緑区澤井　大日野原周辺
参 小学5年生3クラス110名　教師6名　計116名
スタッフ　やませみ職員　6名
イ L佐藤⑤、富樫⑥、小野⑦、有坂⑧、鈴木(敏)⑧、松山⑩、松永⑪

好天に恵まれ、ふじの体験の森「やませみ」の間伐体験学習が無事に終了した。事前授業で間伐の意義、森林の働き、間伐作業の方法などを説明してあったことで、現場でのお話しの時間は極力短くして作業時間を増やした。本日の作業は各班の人数が 18～19 人と多いため、特に安全管理に注意すること、間伐作業中に一人当たりの鋸を使用する時間が短くなるので満足感が得られるかなと言った課題があったが、先生や職員の方に安全に関して一層の協力をお願いすること、コースター作りで鋸を十分使えるように作業時間を通常よりおおよそ 1 時間ほど長くするなどの配慮をしての活動であった。胸高直径 15～18 ㎝、樹高 14～18mの子ども達にとっては大きすぎる木の間伐はロープで引いて倒した時の迫力がずっと記憶に残るものと思われる。活動はケガ･事故もなく無事に終了、生徒達の感想は楽しかったとの声が多かったが、一班当たりの人数が多くなると待ち時間が増えることから作業に集中できないようにも感じられた。

（記　佐藤　武晴　⑤）

◆ 川崎市南野川小学校

環境･エネルギ-学校派遣事業～かながわ環境教室～
「木がためこんでいる二酸化炭素の量を測ろう」

日 平成28年11月17日(木)、晴れ
場 川崎市宮前区野川　南野川小学校
参 小学5年生85名　教師3名　計88名
イ L足立④、井出①、堀江④、松本⑧、加藤⑫、

二校時を利用した余裕のある環境学習となりました。学校内に植わっている樹木の中から50本を事前選定していただきCO2の測定をいたしました。図書室にて全体説明(8:45AM)を行い、先ず「木が二酸化炭素をためこむしくみ」、調査票の記入説明、樹木尺の使い方を教え測定開始です。ほとんどの樹木が3m以上で胸高直径83cmのクスノキもありました。2名ペアの測定終了後、集計結果のまとめに入り結果は、総CO2年間吸収量＝8,981kg、一本当たりのCO2年間吸収量＝180kg、学校のCO2総年間排出量(電気、LPガス、灯油、水道含む)＝127,912kgで樹木が吸収する割合は、7.0%でした。最後に感想発表を受けクスノキが一番含んでいると思っていたが、木の種類によりCO2の量が異なることを知ったのが良かった感想とお礼の挨拶があり学習終了となりました(10:15AM)。

（記　加藤　久雄　⑫）

かながわ森林インストラクターの会は
『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。
◆ 活動団体・活動名　等
[日]　日付（できれば時間と天気も）
[場]　場所
[参]　参加者＆人数
[県]　神奈川県 環境農政局 緑政部
　　水源環境保全課 水源の森林推進グループ
[財](公財)かながわトラストみどり財団、[看]　看護師
[ｽﾀｯﾌ]　例　小田原市森林組合ＸＸ様
　　例　川崎市公園緑地協会・ＸＸ様
[イ]　インストラクター（〇数字：期）　[研]：研修枠
以下本文
（以下本文を概ね400字を目安として執筆ください）
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく！！)
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

塗装リニューアル工事が完了し綺麗になった寄大橋と十月ザクラ

～　映画紹介　～

（神奈川新聞およびカナコロ、秦野市ホームページから抜粋）

映画「じんじん～其のニ～」

2月24日、25日に舞台の秦野でお披露目

（秦野市蓑毛で撮影に臨む大地康雄さん（中央）ら出演陣）

秦野市を舞台に制作された映画「じんじん~其のニ~」の特別先行上映会が2月24、25の両日、秦野市文化会館(同市平沢) で開かれる。一般公開は4月下旬から5月上旬となる見通しで、協賛金約5千万円を集め、多くの市民がエキストラとして出演するなど映画制作を後押ししてきた地元秦野で全国に先駆けてお披露目される。映画は福士誠治さん演じる心を閉さした若者が、秦野に居候中の大地さん演じる大道芸人・銀三郎らと出会い、林業を通じて生きる希望を取り戻していくストーリー。ヒロインの市観光協会職員役に鶴田真由さん、林業会社の役員役に永島敏行さん、居候先の大家役で市内在住の刈谷俊介さんが出演する。

上映会は ①2月24日PM6時から②同25日AM10時から
③同日PM2時から ・各会の定員は約1500人

問い合わせは、
秦野市市観光協会　電話0463(82)8833

右:貴重なナベツルの飛翔

編集後記で赤崎さんが今年の運を使い果たしたかもと言っていた神奈川県ではとても貴重なナベヅルです。(迷い幼鳥)
(3月号予定の探鳥会報告の
　先行掲載写真です。3月号にご期待)
(写真撮影大原さん⑬、1月7日相模川)

やどりき水源林 ミニガイド

1月のトピックス

平成29年の山の神祭が行われました。(詳細は3月号に掲載)

(1/15　撮影)

2月の水源林

やどりきは冬の真っただ中。鳥や動物がコッソリ動きまわっています。うまくすると遭遇するかも。

「森の案内人」情報

(12月、1月、2月は休みです)

●実施時間:毎週土曜･日曜･AM10 時･PM1 時, 1～2 時間程度
●集　合:水源林入口ゲート前
●内　容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料
＊10 人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
●問合せ:(公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL：045－412-2255
FAX：045－412-2300
● ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ ： http://www.ktm.or.jp
● E-mal： midori@ktm.or.jp
●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス｢寄(やどりき)｣行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

湯河原梅林(幕山公園)
梅の宴

期間:2/4(土)～3/12(日)9:00～16:00
ライトアップ:2/25(土)～3/5(日)18:00～20:30
問合せ先等:湯河原町観光課
TEL:0465-63-2111　Fax:0465-64-0300
http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/kankou/event/ume-top.html

開催期間１月１４日(土)～２月１２日(日)午前９時～午後４時
お問合せ先　松田町役場観光経済課　電話番号：０４６５－８３－１２２８
(松田町観光協会ホームページより)
https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/6roubai/

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

＜広報全般についてのお問い合わせ＞
松本　保
Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel　：090－7962－3168
＜電子配信担当＞　赤崎 さほり
Mail:s_akasaki-k_instructor@live.jp
Tel　:090－6150－6173
＜メール・手書き原稿送り先＞
【本誌】松本　保
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先：090－7962－3168
Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
【別冊】水口 俊則
〒250-0871　小田原市下堀 123
Tel/Fax：0465－42－7240
Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp
【別冊は CC を】福島 正治 (事務局長)
〒214-0006
川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204
Tel/Fax：044-944-9423
Mail：fukky52000@yahoo.co.jp
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ)　http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01
(HP 担当 ： 井出恒夫)

編集後記

★今年は探鳥会で早速運を使い果たした気もしますが、まだまだ始まったばかりです。頑張ります！
(赤崎)
(貴重なナベツルを見られた幸運？)
11 ㌻に写真を先行公開します:編集人)

★青く澄みきった朝、高尾駅の線路脇でジョウビタキに出会いました。彼は1m ほど先の塀の上で楽しそうにさえずっていました。
(小川)

★ここ数年、風邪予防にマスクをしていますが、効果てきめんです。
喉、鼻の乾燥予防でき風邪をひかなくなりました。
(水口)

★この冬我家では、まだ雪かきをしていません。ほんとうは雪が降らないに越したことはないのですが、心待ちにしている今日この頃です
(薗田)

★寒い日が続きます。思い出せば小中学校時は長野の山奥で大寒時は寒中休みでした。宿題もなく橇(そり)遊びを毎日していました。橇は桜の木で自分で作りました。桜が最高材質でした。
(松本)

年間通読のお申し込み

｢森のなかま｣年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人：　松本　保
事務局：　福島　正治
広報部：　水口俊則　赤崎さほり
小川和恵　薗田栄哉
大塚晴子　小池　哉
支援　伊藤恭造　大原正志
江頭淑子